



顔と名前が分かる

青少年育成境港市民会議渡地区部会では、子どもたちに顔と名前が分かるようにと見守り隊の方(25名)の名札を作成しました。「子どもたちが名札を見てくれているよ。」と畑野成至さん(渡地区自治連合会会長)は、いつもの通学路で子どもたちの安全を守っています。こうした顔と名前が分かる取り組みが、子どもたちが成長しても地域の人と関われる関係に繋がっていくのだと思います。



「運動会がんばってね！」と声をかけています。

金ちゃん復活！(外江小)

しばらくお休みにしていた『読み聞かせ』が始まりました。子どもたちから「金ちゃん復活だね！エプロンの読み聞かせもしてほしい！」と話しかけられている金坂玲子さん。「学校に来ると元気が出ます。」といつもおっしゃっています。子どもたちから「金ちゃん」と呼ばれているのですね！誰にでも優しく声をかける金坂さんは、やっぱり人気者ですね。



楽しみにしていた子どもたち、前のめりで聴いています。



読み聞かせの後は、図書室で情報交換。皆さんも久しぶりの再会で楽しそうです。

紙すき体験(渡小・3年)

伯州綿を育てている3年生は毎年「紙すき体験」もします。境港市農業公社の岩本さんから説明を聞いて、自分だけの紙に仕上げていきました。この紙でこれから何を作るのが楽しみです。



綿を作ろう会のメンバーがサポートします。



たくさん質問しました

メダカの学校(外江小・3年)

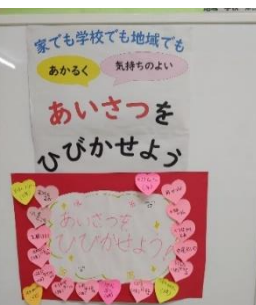
『あらしまや』の佐々木圭さんをゲストティーチャーにお迎えして、メダカのこと、地域への思い、挑戦することの大切さを学びました。「何でもいい、夢中になれることを見つけてほしい」と佐々木さんは伝えてくれました。佐々木さん、地域の先生としてこれからもよろしくお願いします。

三中校区ケヤキ並木清掃活動

コロナ禍で地域と家庭と子どもたちが一緒にできる活動が減っています。そんな中、三中校区学校運営協議会では「あいさつの響き合う地域・学校・家庭づくり」を目指し、今できることをやっという動きがあります。そこで今年も『ケヤキ並木清掃活動』に参加し、お互いに挨拶を交わしながら、地域・家庭・子どもたちがすがすがしい気持ちで一日を始められたらと思います。日時等の詳しい内容は、公民館からのお知らせでご確認ください。



三中は改修工事が終わってきれいな校舎になりました。生徒のあいさつ運動も始まっています。



外江小
学校内でも取り組んでいます。